

● 日本でブロックチェーンによる不動産売買が成立

米国の不動産テックスタートアップ企業 Propy は 4 月 11 日、日本で 2 件のブロックチェーンによる不動産売買を完了させたと発表した。ブロックチェーンによる不動産売買はアジア初という。CoinJournal などが報じている。

報道によると、取引されたのは北海道のニセコにある 2 つの宅地で、香港の投資家により円で購入されたという。

Propy は、一度行った所有権の移転が変更できないようブロックチェーン技術を用いて保護することで、主要通貨のみならず仮想通貨を用いてクロスボーダーな不動産の売買を可能にするプラットフォームを提供している。Propy は、2018 年の 5~6 月にかけて米国カリフォルニア州でブロックチェーンによる売買を完了させた後、同年 10 月には EU 初のブロックチェーンによる不動産売却を完了させている。また、米国バーモント州によるブロックチェーンを用いた所有権移転登記の実証実験にも関わっている。

クロスボーダーな不動産売買においては、それぞれの国ごとに通貨あるいは仮想通貨のやり取りや権利移転の手続などを同時に完了させる必要があり、そうした所有権の移転を確実なものとするためにブロックチェーンが用いられている。日本国内でもブロックチェーンを用いた不動産取引やスマートコントラクトの実証実験が複数実施されているが、このような国際間取引はそれらに先行して今後とも成立していくものと思われる。

(参考) ” [Blockchain Proptech Startup Propy Completes First Real Estate Transactions In Japan](#) ” [CoinJournal, April 11, 2019](#)